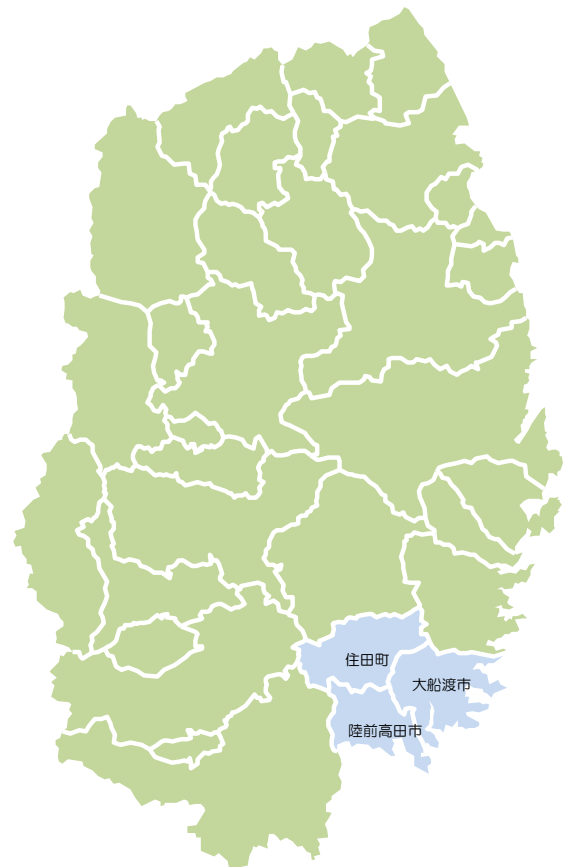


県土整備部の職場紹介 No.9 沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター

地域概要

大船渡土木センターの所管区域は、大船渡市、陸前高田市及び住田町の2市1町で、岩手県沿岸部の最南端に位置しています。

東日本大震災津波により被災した公共土木施設の迅速な復旧・復興、管内の社会資本の良好な維持管理に務めるとともに、地域住民との協働や管内市町との連携により、「暮らしの再建」や「なりわいの再生」に向けた「防災のまちづくり」を強く推進しています。



組織体制

○平成28年度組織キャッチフレーズ

気仙の復興の日まで 心ひとつに がんばら・ネバー・give up

○組織の特徴

当センターの組織は、所長、副所長以下6課及び1担当で構成され、職員数は、**正職員49名**、**全国から派遣された職員21名**（大阪府15名、福岡県2名、高知県2名、新潟県1名、山口県1名）、**任期付職員9名**の**総勢79名**の体制となっています。

今年度の主な取組

1. 主要地方道大船渡広田陸前高田線 花貝地区 開通

『まちづくり連携道路』として整備を進めていた、主要地方道 大船渡広田陸前高田線の花貝地区 地域連携道路整備事業が完成。9月29日（木）に開通式を行い、同日15時から供用を開始しました。津波浸水区域を避けた位置に道路を計画するとともに、陸前高田市の復興まちづくり（高台移転等）と調整を図り整備を進めてきたものです。



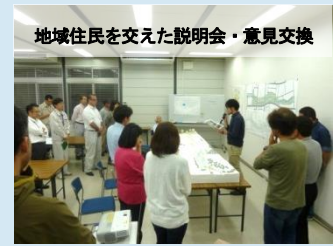
開通式（9/29）の様子

2. 総合流域防災事業の推進（川原川）

陸前高田市の市街地と古川沼を貫流し、気仙川に合流して広田湾に流れる二級河川川原川の総合流域防災事業を推進しています。市の復興まちづくりにおける新たな中心市街地の計画に合わせ、水辺に親しむ河川公園の整備と河川改修が一体となった川づくりの計画検討を行っているところです。

9月23日（金）には、地域住民を交えた説明会・意見交換会を県と市で開催し、多自然川づくりの有識者からの説明や、地域住民からの震災前の川原川での川遊びの思い出や計画に対する意見・要望等を確認しました。

今後は工事の実施に向けて、関係機関との調整等を行いながら早期整備に取り組んで参ります。



地域住民を交えた説明会・意見交換



地域住民による川づくりへの意見等

3. 防潮堤災害復旧工事（水管理・国土保全局所管）

大阪府からの支援職員等の応援を得て、管内7海岸のうち3海岸が昨年度までに完了済みで、今年度は高田地区海岸が完了の予定です。

県内最大規模である高田地区海岸防潮堤工事の全容が見えてきたことから、これまで多大な協力を得てきた大阪府職員と、国内各地からの視察に丁寧に対応いただいた受注者へ謝意を表すべく「感謝する会」を10月28日（土）に開催しました。

当日は、かつての支援職員から復旧工事の感想発表や、沿岸広域振興局から受注者への感謝状贈呈などが行われました。

残る3海岸は、平成29年度中の完成を目指し引き続き整備を進めていきます。



防潮堤復旧工事への支援に感謝する会



復旧工事をご支援いただいた皆さん

独自の取組等

1. 震災復旧・復興工事での過重労働解消を目指す取組

気仙地域における国、県、市、UR、JR等の関係機関や団体により、5月30日（月）に「震災復旧・復興工事での過重労働解消を目指す気仙会議」が開催され「気仙宣言」が採択されました。

6月、8月にフォローアップ会合を重ね、具体的取組として統一ポスターを作成し受注者の現場事務所に掲示を依頼したほか、気仙地域の取組を他地域に発信・展開しています。

2. スマイル130（いちさんまる）プロジェクトの取組

・大船渡×東京 花のみちプロジェクト・

大船渡市及び東京都と連携して、これまでの復興支援に対する感謝の気持ちを込めて、被災地で育成した花苗を東京都へ提供する活動を行っています。

今年度は、大船渡市の八幡町地域公民館と本町地域公民館の皆さんとともに1,000株の定植活動を行い、そのうち200株を東京都へ提供しました。

提供した花苗は、都庁前の花壇への定植や、「夢のみち2016」イベント等で被災地の情報等とともに展示され、多くの都民の皆さんに被災地の現状をご理解していただきました。



5月29日（日）、花苗の定植活動に参加された地域公民館の皆さん